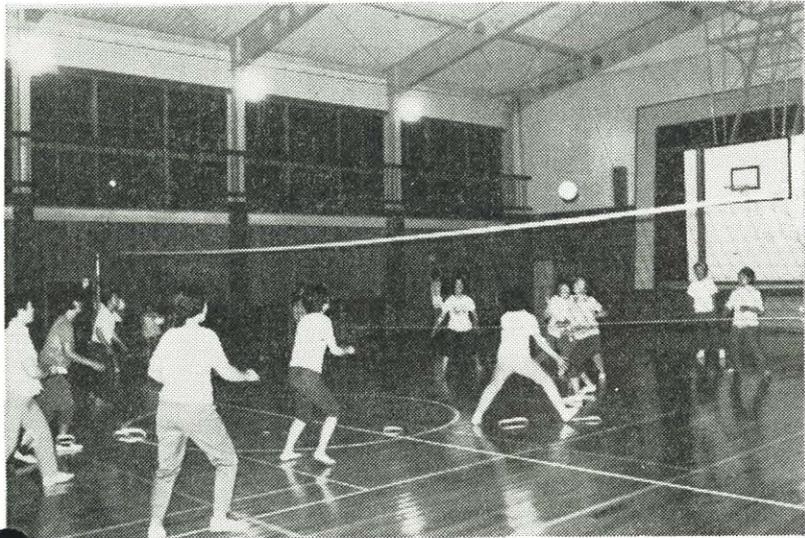


編集と発行 高知県安芸郡馬路村 馬路村公民館
印刷 川北印刷所

まじ

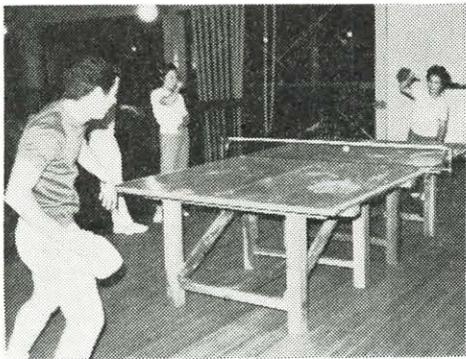
人口と世帯数					一口辞典	
(6月末日、住民基本台帳による)					馬路村の面積	
大字	男	女	計	世帯数	S. 43.7. 現在(ha)	総面積
馬路	677	692	1,369	424	16,607	うち
魚梁瀬	459	461	920	339	41.72	田畑
計	1,136	1,153	2,289	763	15.25	果樹園
					10.24	山林
					15,941.82	その他
					497.97	(村振興計画書から)



火、金曜日は 体育館へ(馬路)

馬路体育会は、このほど、毎週火、金曜日の午後7時半から10時まで、小学校体育館で、バレーボールと卓球の練習を始めました。

だれでもこの日には練習に参加できます。体位向上と健全なスポーツを振興し、明るい村づくりの場になる事でしょう！



土地改良事業の施行など、その他議会で決定したこと

役場職員が公務員として当然あるべき姿勢を守っていない点がある。職員研修をもっとやる必要がある。必要があればいいか

生牛乳の農薬汚染に関連し、学校給食をどう考えているか

「栄養士配置に関する請願書」は、馬路給食審議会長、馬路PTA会長から提出されたもので、学校給食をさらに効果をあげるため、栄養士を配置して欲しいというもので、議会で万場一致採択しました。

村長・新任の職員は、県の自治研修所で行なう研修会に出席させている。内部研修についても十分検討したい。

分持権境界の設定、測量、標柱の埋設等を行なっていた椎尾山の入会林(登記簿上は岡田菊太郎外五十五名持三四七、〇五六平方尺)は、このほど整備計画書がまとまり、六月二十五日から一月、県と村役場で計画書の縦覧が行なわれていました。

県単山振事業(第三次)など 補正予算の内容

昭和三十九年からの第一次、昭和四十二年からの第二次に引き続き、本年度からはじまる第三次県単山村振興事業は、三カ年事業で、総事業費が一千四百七十万四千円(他に融資事業が三百七十五万五千円)、今回予算化された初年度の事業費は四百四十一万一千円(うち県費二百二十万五千円、村及び受益者負担各々百二十万二千五百円)

主な事業は森林組合貯木場設、置三百三十万、果樹病害虫防除機具購入十七万、成木林枝うちナタ購入六万六千円など。

新作物導入実験農場設置 新作物として、杉十年生くらいので、杉十生くらいので、播種後十年くらいで反当四五十万円の所得があげられます。実験農場設置費として、半額の県費補助を受け、五万二千円で森林組合が行なうものです。

栄養士配置を請願

学校給食に

一般質問から

議案審議に先だち行なわれた一般質問の主なものは次のとおり。

椎尾山

いよいよ本登記へ

- 5月 3日 憲法記念日
- 5日 子供の日
- 8日 馬路小学校へき地集会所落成式
- 12日 小石川橋落成式
- 22日 消防団臨時総会
- 6月 10日 魚梁瀬慰霊祭
- 12日 議会教育厚生委員会
- 23日 行政相談
- 24日 産建委員会
- 26日 農業委員会
- 29日 定例議会

一般会計補正予算(第二号) 一千七百六十三万八千円追加

六月定例議会から

昭和四十五年第二回定例議会は六月二十九日開催され、一般会計補正予算(第一号)など、村長提出の六議案を原案どおり決定、栄養士配置に関する請願書採択、医療保険制度の改革に関する決議を行なって同日閉会しました。

補正予算額は一千七百六十三万八千円で、一般会計の累計予算は一億四千三百四十一万八千円となりました。

したが、今後は村直営で行なわれず、新作物導入実験農場設置の山地を利用し、葉草オーレを栽培するもので、播種後十年くらいで反当四五十万円の所得があげられます。実験農場設置費として、半額の県費補助を受け、五万二千円で森林組合が行なうものです。

見舞金百万円

村の清掃係であった山崎久寿亀さんが公務中死亡し、村葬を行なったことについて、本紙前号でお知らせしましたが、その後議会で、その後議会で、故山崎久寿亀さんへの見舞金として百万円おくることになり、今回予算化されました。

取に関する条例制定について、地方税法改正に伴う「村税条例」と国保条例の一部を改正する条例」と、任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に乾光秀さん(七十歳)と手島康義さん(五十九歳)を選任する案をいづれも原案どおり決定しました。

交通 悪放

スピード違反 飲酒運転 無免許運転

事故の無い 平和な 村を造りましょう。

有線交換手 門脇 由美
清掃夫 中川 万士
※新任係 (六月一日)
有線交換手 小松 艶子 (七月一日)

消防団長に

岩城 義喜さん



中屋前団長は中芸消防組合へ

馬路村消防団長中屋前義喜さんは、本年四月に発足した中芸消防組合からの要請によって、五月二十二日付で退職、消防組合の総務係長(兼年四月からは消防署次長兼務)として勤務されることになりました。

消防団では直ちに臨時総会を開き、新団長に前副団長岩城義喜さん(四十六歳)を選び、同日付で就任されました。なお、後任副団長には前馬路分団長の浦木昭郎さん、馬路分団長には前副団長の浜渦安吉さんが各々任命されました。

新組織は次のとおりです。

- 團長 岩城 義喜
- 副団長 尾原 宗寿
- 旗手 浦木 昭郎
- (馬路分団) 西野 真司
- 分団長 浜渦 安吉
- 副団長 笹岡 保
- 自動車ポンプ部長 山中福治
- 同機班班長小松利一、同団員大野烈、同団員島中郁穂、給水

馬路村の振興計画の内、観光計画について、町村会報で次のように批評されていますので、転載します。

さつと読ましてもらって気づいたことは観光計画の考え方が違った。観光客や見学者が年々ふえてきていので宿泊施設、駐車場、遊歩道、キャンプ場、舟遊び施設を整えることにしているが、どこまでが常套の面白い文句だがこれからは、都座をのがれてくる人々のために真実のいこいの場になるようできる限り自然を失わない自然美を誇るにたる観光地にしてほしいのだ。

これは立派である。村の総面積の九十六%が山林しかその七十五%は国有林、耕地はわずかに〇、四%一戸当り農林所得平均九十五万円にたいしここでは五十四万円。

振興計画(馬路村)

へき地性、低所得性社会機能の劣弱性——明るい要素はきわめて少なく、永住しにくいというものが二十五、四%を占めるともいえる。厳しい条件下にこれだけの自然の処女地がある。そこに人間生きているに値する生活の場とよきこの場を住民と都人士のために築こうとする振興計画かと思ふ。

もどらない、かけがえのない魚梁瀬の大自然を損傷せぬよう管理しようとする馬路村の計画に拍手をおくりその成功を祈りたい。

(高知県町村会報から原文のまま)

林業講座

(9)

儲かる林業を視て(1)

七〇年代の林業を考えると、とくに馬路村の民有林業について三回に亘り記述して参りました。近年社会経済の加速的な伸張振りは驚異の目を見張るばかりで、昨日の事が今日は古いという程のスピード時代であります。安田町へ一日がかりで森林軌道の連絡で用達に行つた十年前——現在の発展を誰が予測したでしょうか。

当時の木材価格は杉、松の差が少く平均して立方米当り九、三六〇円(石当り二、六〇〇円)山に造林木があればどんな材でも飛ぶように売れた。そして値段の方もうなぎ昇りに高騰した。それが外材の輸入によって大きく変わってきたことは今更申上

げらまでもありませんが住宅建築加工の製材工場にしても現在ヤナセの丸山台地の倍以上もある広大な団地を造成して、そこに近代化的設備投資を行ない各製材業者が集団化し、その殆んどが外材専門工場であります。

地形は本村の様に急峻ではありませんが平家の落人が住みついたという部落であります。降雨量は年間二、八〇〇mmで、本村より少なく毎年一米を越す積雪のため造林の雪止しに多量の労働力を要している。人工林一、五〇〇ヘクタール中九〇〇ヘクタールが古くから杉松の用材林として採伐施設をつづけており柱材その他建築専門の注文材を生産し、無節の良質材として別表(4)のような立木販売単価の高

い取引きが行なわれている。即ち林業収入により家計を維持する農家が多く従って林業経済にすこぶる関心が高い。それは現地の林内どこをみても手入れの行きとどいたこと、一本一本の杉、松に山主の愛情がこめられている様子がわかる。

別表の比較を見ればわかる通り一ヘクタール(町歩)の山林の年間成長量は本村の六割だが販売手取では毎年十万余り収入が多い。枝打作業を実行することによって労働力の三倍も四倍もの収入を上げている。須林業は儲かる林業といえます。次回はその枝打方法について学んだことを報告します。

別表(2) 森林資源の現況

区分	樹種別	立木地		竹林		未立
		N		L		
		ha	千m ²	ha	千m ²	
人工林	すぎ	938	123	内訳 伐林 900ha		
	ひのき	342	33			
	あかまつ	2				
計		1,282	156			
天然林	あかまつ	266	21			
	その他(広)			674	33	
計		266	21	674	33	1
合計		1,548	177	674	33	1

別表(1) 農家の山林保有規模

規模 ha	戸数	1ha未満	1~3	3~5	5~10	10ha以上	計
	15	158	92	30	23	8	326
%		4	49	28	9	7	100

別表(3) ha当り年間育林労働投入量

種別	整地植栽	下刈手入	枝打ち	雪止し	管理	計
労働量	4.5	11.5	4.0	7.0	1.0	28.0

(年成長量に見合う材積連年伐採の場合但し枝打は3~4年毎)

農夫とヒバリ



第6回

「誰かに頼んで」「誰かがやった頃、畑の持主がやってきた。」「おお、よく実っただ、明日はみんなに頼んでやってしまおう」というのを聞いて、心配するひな鳥に、

「誰かに頼んで」「誰かがやってくれらるだろう」などと云っているうちはだめです。良い政治はみんなが自分で考え、自分が一票を投ずることから始まります。

いつものとおり解答は全部本紙に出ています。よく読んで、ふるってご応募下さい。

品(ボールペン)をおくります。

シロバラコーナー

「や、これは実がいりすぎた。明日は自分でからなくちゃ」というのを聞いた親ヒバリは、「サア今度は、本当ですよ」とサッサと引越した。

「誰かに頼んで」「誰かがやった頃、畑の持主がやってきた。」「おお、よく実っただ、明日はみんなに頼んでやってしまおう」というのを聞いて、心配するひな鳥に、

「誰かに頼んで」「誰かがやってくれらるだろう」などと云っているうちはだめです。良い政治はみんなが自分で考え、自分が一票を投ずることから始まります。

品(ボールペン)をおくります。

別表(4) 1ha当り成長量に対する販売の比較

樹種	馬路村				今須				択伐林			
	ha成長量	m ³ 立木単価	ha当り立木代	材質率	ha成長量	m ³ 立木単価	ha当り立木代	材質率	ha成長量	m ³ 立木単価	ha当り立木代	材質率
す	17,300	136,670	30	41,001	36,000	165,600	90	149,040	18,000	82,800	10	8,280
ぎ	7,900	62,410	70	43,687								
小計				84,638	4.6			167,320				125,856
ひのき	28,200	222,780	40	89,112	90,000	414,000	80	331,200	54,000	248,400	20	49,680
小計				145,518				380,880				76,176
計				96,853				202,032				

スギ、ヒノキ植栽地は同じで双方のha当り販売手取差は105千円余りとなっている。



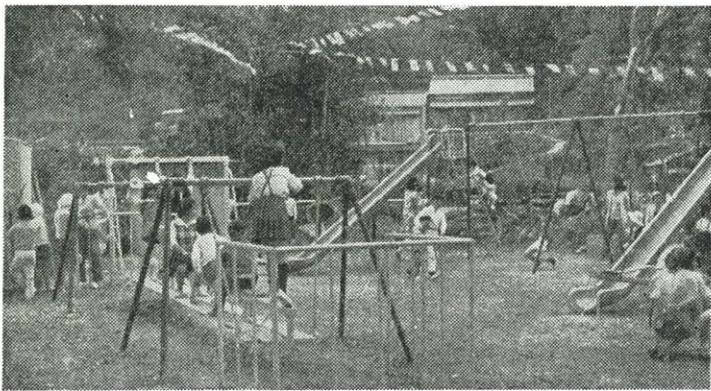
馬路村ではどのような病気や原因でなくなっているのでしょうか。過去五年間の死亡原因を表の通り出してみました。...

馬路村の死因について

Table showing death causes in Maruoka village from 1940 to 1944. Columns: Year (S40-S44), Cause (e.g., Heart disease, Cancer, Accidents), and Death Rate.

したがって日常の食生活や、寒さなどには充分注意し、早期の治療と継続した治療が望まれます。

第三に問題となるのは心臓の疾患で食生活の変化や精神的緊張などの作用によると言われている心筋硬塞や狭心症が含まれています。



わあーできたぞ 東川遊園地完成!

馬路東川部落の観音堂境内に、このほど遊園地が完成しました。部落民総出で、整地作業等を行い、村も集落補強事業として、四十五万円を投入。

Table listing special handbooks for sale with titles like '古典芸能シリーズ' and dates.

特殊切手発行予定



郵便局だより

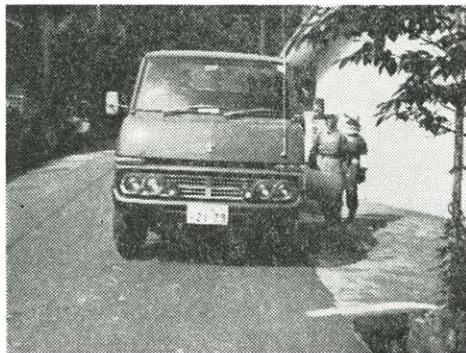
郵便の事故は必ず届け出を!!

郵政省では、郵便物を正確に早へお届けするよう万全を期しておりますが、全国で一日二四〇〇万通もの郵便物を取り扱っている関係で、ときにはご迷惑をおかけすることもあります。

ごみ処理について

お知らせとお願い

皆様の家庭から出る「ごみ」の収集処理については、今までの運送業者に委託してまいりましたが、皆様の要請もあり、今回新たに専用車を購入し係職員を一名採用して収集と処理を行なうことになりました。



ごみの処理収集については、ごみの日程により、馬路地区 毎週月、木曜日、魚梁瀬地区 火、金曜日、(午前中) 瀬戸物のかけらなどはごみと一緒にしないよう、くれぐれも御注意をお願い致します。

出生及び死亡届の改正

今までは出生、死亡届は、出生地または死亡地の市町村長に届出をしなければならなかったが、本年四月一日から、住所地、または出生、死亡地及び本籍地の市町村長に届出してよい取扱となりました。

出産おめでとう!!おめでとうございます

父 大原 敏喜 母 瑞理子 赤ちゃん 続柄 生年月日 部落

Table listing names and birth details of children, including names like 芝真男 and 手島敬介.

ごめい福をお祈りします

Table listing names and details of children, including names like 岡崎能一 and 益田徳代.

教育の窓

研修旅行報告

馬路小学校長 山田 敏 夫

本校の研究目標は、学習指導法の改善であります。今回の学習指導法について全職員で視察研修をすることに、六月十八日から三日間左記の通り実施しましたのでここにその概要を報告いたします。

- 一、目的、学習指導法の改善、学校教育の中でその大部分を占める一時間、一時間の授業を重視し、授業の近代化、現代化を図り、充実した毎時の授業をするためには如何に工夫努力しなければならないかを研究する。
二、目的地選定の理由
学習指導の近代化が実り教育効果があがっている学校、学校の規模、環境が本校に似通っている学校を基礎として選定した。その結果
・南国市立日章小学校...
・学習効果を高めるために視覚教材教具をどのように活用すればよいかで効果をあげている学校
・和歌山県川辺町立和佐小学校...
主休的学習で効果をあげている学校
三、日程
六月十八日(木)
南国市立日章小学校(八時~十一時)テレビ朝礼、学級めぐり(三年)授業参観



視聴覚教材、教具の活用について

浜田 園子 長戸 一夫 筒井 末子

南国市立日章小学校を視察して

近來教育工学のめざましい発達にともなう、多種多様な教育機器や視聴覚教材が教室に出回るようになってきた。校門をくぐると立体的に整理された花壇には、色とりどりの草花が植えられ環境はまことによい。校下には高知大学(四面へ)

(三面から)農学部、高知工専等所在し教育環境もよく児童数三百八十名、教育に対しても理解深く、学校教育に対しても熱意高く、PTA活動も活発に行なわれていて教育上最も良い環境にあるといえよう。そうした中で三年前から、教育効果を向上させるため、放送教材をどのように利用すればよいかという主題で研究している。また放送教材をどのように使ったらよいか、放送教材を手軽に利用するためにどんな手法が必要であるかというような基本的な問題ととも組み、なお効果をあげようかというように利用すればよいかということについて、授業を中心として研究をすすめているようである。

研究の方法としてグループ研究を中心とし、低学年グループ教科道徳利用番組NHK大きく、中学年グループ教科社会利用番組NHK良太の村わたしたちのくらし、RKC高知県のくらし、高学年グループ教科理科利用番組NHK理科教室五年生六年生、RKC自然の窓研究の順序として(1)全員で番組を視聴する(2)その番組の位置づけを決める(3)指導案を作成する(4)授業者を決める(5)資料や実験材料を作る(6)実地授業を参観する(7)授業記録をとり効果の判定をする(8)反省会を開き検討する。

以上のことをくり返し実施研究をしているようである。私達が視察した朝早速放送朝礼をみせてもらった。ベルの合図で一斉に子供達が教室に入る。放送室には二台のカメラ、二台のビデオテープレコーダ、親テレビモニターカセット、集声用マイク、プロフェッショナル並みの設備がなされた機械操作、照明器具等全部六年生が行い、その手付きなど専門家が驚く程である。先づ校長先生の朝の挨拶、養護の先生のけがの実態と注意など放送される。先生の顔をみながら注意を聞けばわかりやすいし、親しみも増すことだろうと思っただけでなかった。

に分かれ、根のついた草花を用意して肉眼でみたり、虫めがねのぞいたり熱心に研究している。貝や魚はえらで呼吸する。また人間は肺で呼吸し、空気中の酸素をとり血液の中に入り、二酸化炭素を空気中に出している。このように動物は呼吸しているが、植物も空気中の酸素を取り二酸化炭素を出して呼吸している。植物の呼吸によって二酸化炭素を確かめる実験方法、ポリエチレンの袋を使つての植物の実験根毛の作用、最初に実験をさせてみる。思い思いの意見が発表される。子供達の思考課程をどう位置づけるか、むづかしい問題である。理科学習は実際にやらなければならぬこととは絶対必要である。

まともとしてテレビ実験による放送で最後のしめくりをした。教育の近代化の叫ばれている今日、何もかも教室で子供達にというやり方では能率があがらない。児童に最も適切で、それを与えれば思考が次々と広がっていく課題を考えなくてはならない。その意味からも子供達の思考活動を盛んにし、問題をはっきりつかませることが必要である。テレビ教育の役割の一端をのぞかせていただき大変参考になり、今後の計画の資料とさせていただきます。

主体的学習の研究

正幹 淳子 清岡 松木
治志 静祐 小松 西岡

従来の学習段階は導入、展開、整理の三段階学習であった。導入とは子どもを学習の状態に導き入れることであり、この導入には子どもが必ずしも下調べをして来なくても教師の導入によって学習を受ける態勢に導き入れられるので子どもにとっては

受身の学習である。展開の段階においても主導権は教師にあって教師の発問によって子供は考え発表し考えられる導かれて行くのである。もちろん子供に活動させようとはするが教師の指示筋書きの上での活動である。

整理の段階においても同様であり本時に教えたことを子供に問いつつ教師が整理して行く形をとっていくことが多い。従つてこの学習の流れは教え導くことにその心があり、学習方法の訓練は第二義的になってくる。

整理の三段階学習であった。導入とは子どもを学習の状態に導き入れることであり、この導入には子どもが必ずしも下調べをして来なくても教師の導入によって学習を受ける態勢に導き入れられるので子どもにとっては

導学習、教師指導学習の四段階になり、第一、第二、第三、第四学習訓練と三重の課題解決学習を通じて学習方法を訓練できる構造になっている。構造についてはこれ位にとどめ感想の一端を記してみたい。

①研究は国語科を通してやりにまだに全教科へ渡っておらず研究の重点として読解学習の構造的な研究であり、読解能力の引き上げ、基礎基本発展学習、トレーニング教材の完備、基本操作の整理と確認、基礎発展学習の構造化等があげられるが、なみなみならぬ努力と決意がいる。

①予習の課題②個人差③発表、診断、計画④相対的

とつてあるので、子ども自体でやれるか、どうかを確かめ、やれない子供があれば、学習方法を示し納得させて帰らしてやり、学習の方法が身につく。また学習してこなければ次の時間には圏外になるので学習をさせたということになる。

④この形態の学習に必要な訓練、話し方、聞き方の訓練、診断の方法と技術の研究...等早急に基本的な訓練が必要である。貴重な視察という経験を生かして子どもをどう学習させるかという学習方法を更に研究し、一せいの授業の形式をあらため、すべての児童が直接的に学習へ参加できる体制にもっていき更に高い教育水準を維持していきたいことを念願している。

④この形態の学習に必要な訓練、話し方、聞き方の訓練、診断の方法と技術の研究...等早急に基本的な訓練が必要である。貴重な視察という経験を生かして子どもをどう学習させるかという学習方法を更に研究し、一せいの授業の形式をあらため、すべての児童が直接的に学習へ参加できる体制にもっていき更に高い教育水準を維持していきたいことを念願している。

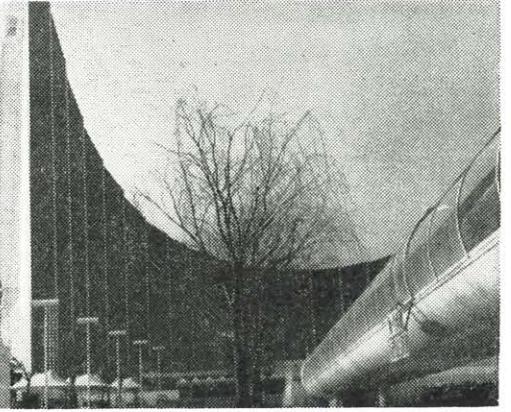
万国博覧会

テーマ館を見て

福島生美

万国博覧会は世界の祭りです。地球上のすみずみから、ひとが集り、目と目を見あわせ、ぶつかりあつて一体となる。人種、国籍、環境のちがいをこえて、人間であることの誇りとよこびを確認しあう広場です。日本万国博のテーマ『人類の進歩と調和』を冷たい観念としてではなく、なまの体験、人間生命の爆発的な高まりとして、すべての人々に実感させたい！

「ソ連館、一時間三十分以上待ち、三菱館、一時間三十分待ち、でも二時三十分ぐらいまでしかいられなれないと思ひ、並んでいたら方がよらしいと思ひ、中央口から会場にはいると、正面に大きな「太陽の塔」が金属性の大屋根を貫いてそびえています。過去・現在・未来とこの三つの顔をもつ「太陽の塔」は、万物のエネルギーの象徴であると同時に、生命の中心、祭りの中心であることを示しています。入口から動く歩道に乗って地



ソビエト館をみて

野本明美

強いものであるのかと感心して見ました。空中展示の『世界』の入口壁面に人間の身近な不幸・戦争・公害などが写真で構成されていますが、人間がいかに滅茶苦茶になっていることか、ここで少し腹立たしい思いがしました。地上展示『調和の世界』世界各国から集められたさまざまな条件の中で今日の生活を背負って、ひたすら自分の生活を生きていっている名もなき人々の写真約六百枚が展示されています。

「ソ連館、一時間三十分以上待ち、三菱館、一時間三十分待ち、でも二時三十分ぐらいまでしかいられなれないと思ひ、並んでいたら方がよらしいと思ひ、中央口から会場にはいると、正面に大きな「太陽の塔」が金属性の大屋根を貫いてそびえています。過去・現在・未来とこの三つの顔をもつ「太陽の塔」は、万物のエネルギーの象徴であると同時に、生命の中心、祭りの中心であることを示しています。入口から動く歩道に乗って地

て、それをゆくりと無精に写真をとりにくくなった。幼児の絵画をレンズの中に納めてパチン？残念！少々光が不足してシャッターがおりない。女性の国家の生産活動への参加。そしてそれらに伴う母子に対する国家の配慮、就学前教育制度の確立、無料の教育、一貫した人間づくり、国づくりの姿勢は話には聞くには聞いていたが、改めて考えさせられた。レポートを書いている今、もう少し、詳しく見聞できたらよかったと思うことしきり。トルストイ、チェーホフ、ドストエフスキー等のなじみの深い作家のならば文学コーナー、はりの犬のさしえのついたハガキ一枚。日本人のファンからの年賀状、チェーホフが気に入って大切にしまっていたのだというレニーンから声。わずかに一枚のハガキで遠い遠い国の遠い遠い時代の偉大な作家達と頭の中にあつたチェーホフもぐつと身近かに感じたものだった。

展示はかぎりなくつづく。地下資源、科学、医学、宇宙科学エトセラ。木材資源のコーナーに設けられた丸太風のイス、老人たちがおりずめ弁当をひぎに小休止。『そうだ、おなががすいた。モウ時間はない、出なければ。』外はどしゃぶりの雨。いくつものパビリオンを見学したなかで、みごたえがあり、どことなく良心的な感じの漂っている展示館はソビエト館だったと私は思う。雨の中、一時間半近く待つのも、時間にはかえられないものがあり、やはりみて良かったとの感じがしきり。パビリオン内ではぐれた清岡先生、アメリカ館ではぐれた他の先生方に会うため、集合場所である中央出口前に行き、万博会場に別れを告げた。